

平成27年度 みやざき小中学校学習状況調査 中学校 分析結果【概要版】



<国語>

平均正答率は59.6%である。「読むこと」の「登場人物の心情を把握」する問題は、平均正答率が93.0%と高い。一方、「漢字の書き」の同訓異義の漢字を書く問題は、平均正答率が24.9%と低く、無解答率も高くなっている。

詳細版には、A問題の中で平均正答率が最も低かった問題と、過去の類似問題より平均正答率が上がった問題を取り上げている。

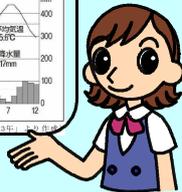
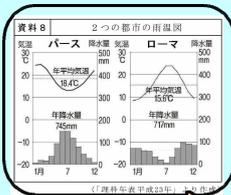
「必ず勝つ」と思うことで
試合にのびる。
望む 臨む
どっち??



<社会>

平均正答率は53.8%で、A問題においては「世界から見た日本のすがた」や「古代までの日本」の領域が高い。一方、「世界の諸地域」や「近世の日本」の領域は、平均正答率が低い傾向にある。

詳細版には、A問題の中で平均正答率が最も低かった地理的分野の問題と過去の類似問題より平均正答率が大幅に上がった問題を取り上げている。



<数学>

平均正答率は51.8%である。「数と式」の「負の数の加法」「一次方程式の解き方」の問題は、平均正答率が高い。「図形」「資料の活用」の領域は、平均正答率が低い傾向にある。

詳細版には、「図形」の領域において平均正答率が最も低かった問題と過去の類似問題より平均正答率が上がった問題を取り上げている。

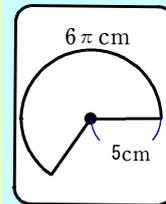


図1



図2



<理科>

平均正答率は49.0%である。「花のつくりとはたらき」「茎の特徴」「化学反応式」の問題は、平均正答率が高い。「物理的領域」の問題は、平均正答率が29.9%と低い。

詳細版には、過去の類似問題より平均正答率が上がった問題と平均正答率が低かった計算を伴う問題を取り上げている。

<英語>

平均正答率は62.4%である。「聞くこと」の領域は平均正答率が高い。「書くこと」の領域は平均正答率が42.0%、「読むこと書くこと」の統合的な問題は35.8%と低い。

詳細版には、A問題の中で最も平均正答率が低かった問題と過去の類似問題より平均正答率は上がったが、A層-D層の差が大きかった問題を取り上げている。



1 彼は、毎週野球の試合をテレビで見ます。
He () baseball games on TV every week.

授業改善のkeyword「分かる!・できる!」まで教えよう!!